

**第5問****32点**

次の決算整理事項等にもとづいて、解答用紙の精算表を完成させなさい。なお、会計期間は×8年4月1日から×9年3月31日までの1年である。

〔決算整理事項等〕

- (1) 仮受金は全額売掛金の回収額であることが判明した。
- (2) 決算に至り、現金過不足のうち¥5,600は受取手数料の記帳漏れであることが判明した。なお、残額については適当な勘定科目に振り替える。
- (3) 受取手形および売掛金の期末残高に対して、差額補充法により3%の貸倒引当金を設定する。
- (4) 期末商品棚卸高は¥320,000である。なお、売上原価は「仕入」の行で計算すること。
- (5) 建物および備品に対して、以下の資料にもとづいて定額法により減価償却を行う。

|     |         |          |
|-----|---------|----------|
| 建 物 | 残存価額：0円 | 耐用年数：20年 |
| 備 品 | 残存価額：0円 | 耐用年数：5年  |

なお、建物のうち¥720,000は×8年12月1日に取得したもので、定額法（残存価額は0円、耐用年数は30年）により減価償却を行う。また、減価償却費は月割りで計上する。
- (6) 通信費のうち¥46,800は未使用の切手代である。
- (7) 借入金は×8年5月1日に借入期間1年、年利率2%の条件で借り入れたもので、利息は元金の返済時に支払うこととしている。なお、当期分の利息は月割計算する。
- (8) 支払保険料は×8年12月1日に向こう6か月分を一括して支払ったものであり、未経過分は前払処理する。